

4 本時 1組 (8/14)

(1) 本時の目標

叙述に基づいて様子を想像し、スーホの気持ちを考えることができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	◇評価規準 (評価方法)
導入	1 本時のねらいをつかみ、めあてや学習方法を確認する。	・前時までの学習内容を想起し、学習の見通しをもてるようにする。	
	白馬がもどってきたスーホの気持ちを考えよう。		
	2 どんな出来事があったかを想像しながら音読する。 (117ページ6行目～121ページ3行目)		
展開	3 行動、心情が分かる文に線を引き、出来事を確認する。 (スーホ…赤線 殿様…緑線)	・全体で言葉の意味を確認する。 ・心情が分かる文に線を引くことで、叙述に基づいて想像を膨らませられるようにする。	◇人物の様子や動作を表す言葉に着目し、その動きを理解している。(発言・ワークシート)
	4 殿様のもとから、白馬が帰ってきた時のスーホの気持ちを想像し、ワークシートに書く。(尊)(表) ・「スーホははねおきて、かけていきました。」の後に、白馬へ何と声を掛けたかについて考える。 ・ペアで確認後、全体で共有する。	・友達の見解を聞くだけでなく、感想や質問を伝えられるようにする。 ・「あいづち あいうえお」や「ハンドサイン」を活用できるようにする。	◇場面の人物のしたことや話したことを想像して、理由や様子を読み取っている。(発言・ワークシート)
	5 スーホになりきって日記を書く。	・「スーホの日記」を記入することによって、スーホの思いに寄り添うことができるようにする。	

まとめ	6 本時の振り返りをする。	・次時の流れを知り、興味をもつて終われるようにする。	
-----	---------------	----------------------------	--

(3) 板書計画

スーホの日記

白馬が帰って来た。

今日、とのさまにつれていかれた白馬が帰ってきた。だけど、矢が何本もつきささっていて、死んでしましそう。とっても心配だな。また、いっしょに野原を走りたいから、元気になってほしい。頑張れ白馬。

心配していたよ。
帰ってきてくれてうれしい。
さびしかったよ。
またいっしょに草原を走りたいね。
とのさまはこわくなかった？

挿絵

帰って来た白馬へ、スーホは何と声をかけたでしょう。

スーホの白い馬
めあて

白馬がもどってきたスーホの気持ちを考えよう。